2020年度の事業報告と決算報告案

2021年1月15日
日本機械学会関東支部シニア会会長
中山　良一

内　　容

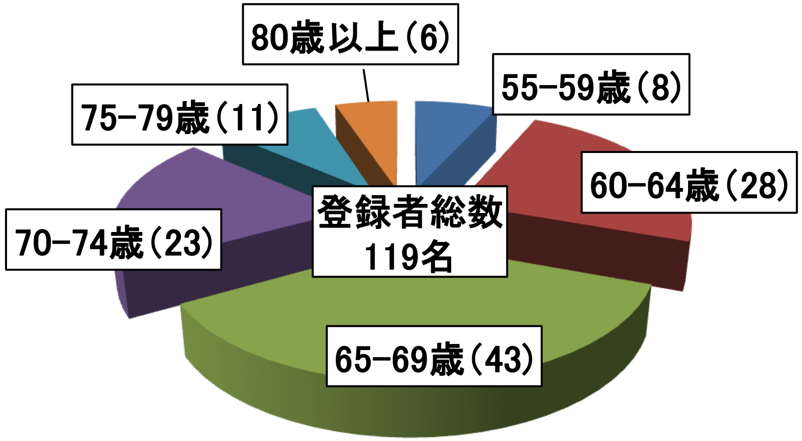
１. 関東支部シニア会登録者の現状
２. 関東支部シニア会規則(改正案)
３. 2019年度運営委員会構成
４. 2019年度事業計画
５. 2019年度事業報告
・2019年度事業報告一覧
・シニア会ホームページ開設
・シニア会2020年度第一回交流会
・シニア会2020年度第二回交流会
・シニア会2020年度第三回交流会
・シニア会2020年度特別講演会(通算第4回)
６. 2020年度決算報告(暫定版)
７. 関東支部シニア会活動へのご支援・ご協力のお願い

関東支部シニア会登録者の現状（2020/1/15現在）

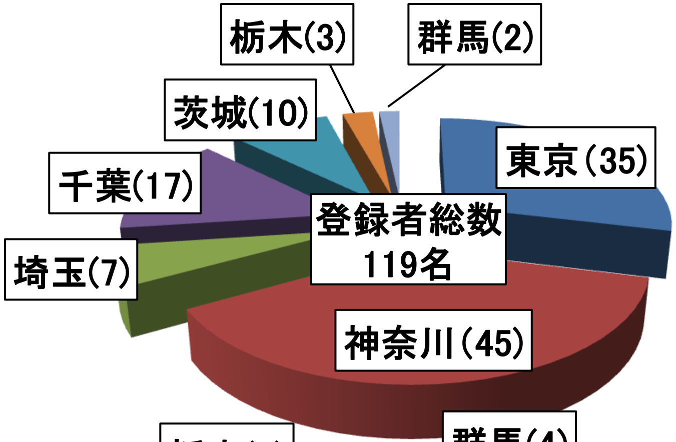
1. 55歳以上の関東支部会員に2015/5/25日付でシニア会設立趣意書と登録依頼メールを発送（締切は2015/6/30日）

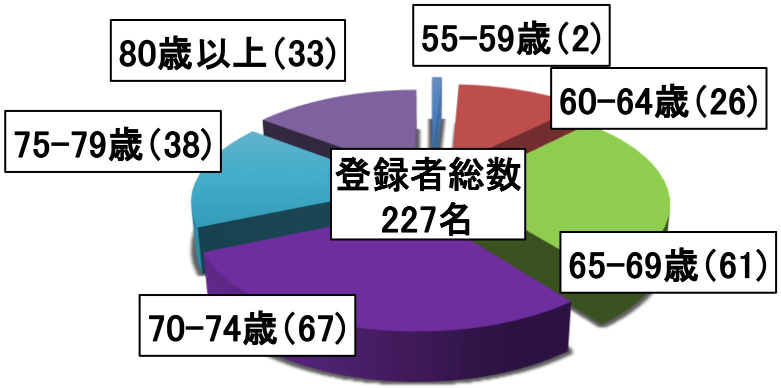
2. 会員登録状況

- シニア会会員登録者は設立準備総会（2016/1/17）時点で119名
- その後，イベント開催などに伴い漸増（2019/5/31時点で184名）
- メカトップ資料にシニア会入会の勧めを同梱・PRし，2021/1/15現在で227名

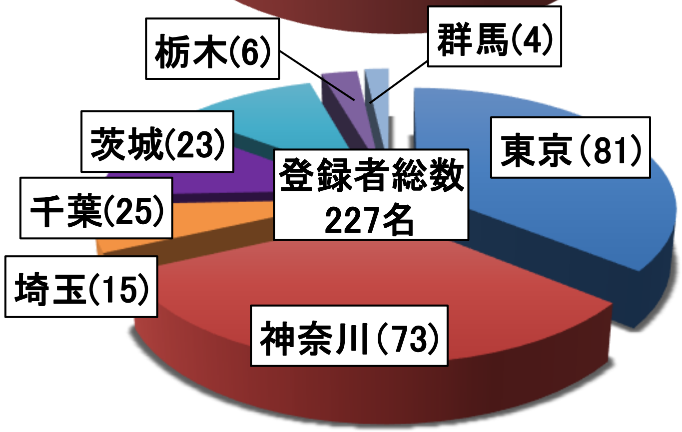


2016/1/17
時点





2021/1/15
時点



年齢構成

地域構成

関東支部シニア会規則(1/3)

第1条　本会は日本機械学会関東支部(以下，支部)シニア会という.
(目的)
第2条　シニア会は会員相互の親睦・交流ならびに情報交換を図ると共に，学生・生徒や技術者への協力・支援を通じて，シニアの持つ経験，技術，知恵の継承に努めることにより，支部活動の支援や会員増強など，支部の発展に寄与することを目的とする.
(事業)
第3条　シニア会は前条の目的を達するために次の事業を行なう.
(1) シニア会総会，学生会との交流会，企業の技術者との交流会の開催.
(2) 支部・学生会の要請による講師等の派遣，講習会等の企画・開催，小・中・高校生の理工系教育支援，ものつくり人材育成支援.
(3) 中小企業に対する経営・技術支援.
(4) その他シニア会の目的に沿う活動.
(事業年度)
第4条　シニア会の事業年度は３月１日から翌年２月末日までとする.
(会員)
第5条　満60歳以上の支部会員でシニア会会員登録をした者をもってシニア会会員とする.
2. シニア会会員は，シニア会に届出ることにより退会することができる.
3. 第7条の運営委員会が認めた者は，満60歳未満の者であってもシニア会会員とすることができる.
4. 第7条の運営委員会構成員は，満60歳未満の者であってもシニア会会員とする.
(組織)
第6条　シニア会は支部の下で活動する.
2. シニア会は重要な会務の処理のため運営委員会を設ける.
3. シニア会は事業の実施のため実務委員会を設けることができる.

関東支部シニア会規則(2/3)

（運営委員会）
第7条　運営委員会構成員は，会長1名，副会長若干名，幹事1名，運営委員（役職なし）若干名，監事1名，支部シニア会担当幹事1名，学生会担当幹事1名とする．なお，必要に応じて顧問を置く
.
2. 運営委員会構成員は，シニア会会員の中からシニア会運営委員会で選任し，支部運営会で承認する．ただし監事，支部シニア会担当幹事，学生会担当幹事は，支部運営会役員の中から支部運営会で選任する．
3. 会長は運営委員会構成員の互選により，副会長，幹事は運営委員会構成員の中から会長の指名により選任する．
4. 運営委員会構成員の任期は2年とし，再任は1回までとする．ただし，監事，支部シニア会担当幹事，学生会担当幹事の任期は原則1年とし，再任は1回までとする．
5. 支部との連絡および支部運営会への報告は支部シニア会担当幹事が当たる．
（実務委員会）
第8条　実務委員会構成員は，シニア会会員の中から運営委員会で選任する．
（総会）
第9条　シニア会総会は毎年会長が招集し，諸般の報告および議事を行う．

改正

2. シニア会総会はシニア会会員の過半数の出席で成立し，出席できない会員は書面をもって議決権を委任することができる．この場合は，あらかじめ通知した事項については出席者とみなす．
3. シニア会総会の議事は出席会員の過半数で決め，可否同数のときは議長がこれを決定する．

改正案

2.シニア会総会はシニア会会員をもって構成する．ただし，総会に出席できない会員は書面等をもって,議長に意見を表明することができる．

関東支部シニア会規則(3/3)

（事業経費）
第10条　支部からの交付金および事業収入で支弁し，残額は支部会計に組み入れる.
（事業計画および収支予算）
第11条　シニア会会長は毎事業年度の事業計画および収支予算を作成し，支部運営会で承認を得たのちに，2月末日までに支部長に提出しなければならない.
（事業報告および決算報告）
第12条　シニア会会長は毎事業年度の事業報告および決算報告を作成し，シニア会監事の監査を受け支部運営会で承認を得たのちに，2月末日までに支部長に提出しなければならない．ただし，総会が事業年度終了以前の2ヶ月以内に開催されるときは直近の期日までの中間収支決算報告に期末における収支決算予測を加えて，当該事業年度の収支決算報告とすることができる.
（契約形態）
第13条　特定団体・企業等の支援にあたっては，日本機械学会シニア会通則に従うことを原則とする.
（規則の改正）
第14条　本規則の改正はシニア会総会で議決し，支部運営会の承認を得たのちに，支部総会で報告する.
附則
1．本シニア会規則は2016年3月10日から施行する.
2．2016年4月26日一部改正
3．2018年2月14日一部改正
4．2021年2月??日一部改正

2020年度運営委員会構成

役職	氏名	勤務先	役職
会長	中山　良一		
幹事	野口　昭治	東京理科大学　理工学部　機械工学科	教授
顧問	村上　俊明	元日本機械学会	アドバイザー
委員	中村　城治	中村技術士事務所	代表
委員	笠井　憲一		
委員	新山　時弘		
委員	鳥毛　明	成蹊大学　理工学部　システムデザイン学科	准教授
監事	能見　基彦	(株)荏原製作所　技術･研究開発統括部 基盤技術研究部	課長
支部担当幹事	野口　直昭	(株)日立製作所　研究開発本部	部長
支部担当幹事	荒木　稚子	埼玉大学　理工学研究科　人間支援･生産 科学部門	教授

担当職員:滝本　真也(関東支部事務局)

2020年度事業計画(当初予定)

１．シニア会総会・運営委員会

総会では当該年度の活動成果ならびに次年度の計画について報告し決定，付帯行事として講演会・懇親会を開催する

また，会務の企画・運営のために3か月に1回を目途に運営委員会を開催する

２．支部活動に対する支援

1) 関東学生会卒業研究発表講演会への参加（2020年3月）

第59回講演会（早稲田大学）へコメンテータ・BPA審査員として参加し学生との交流を図る

2) 理工系教育支援への参加

~~例年実施していた「おもしろメカニカルワールド（国立科学博物館）」は中止~~

３．企業に対する技術支援（随時）

関東地区のものづくり企業への技術支援活動を実施する（継続議論）

４．見学会・情報交流サロン（第1回6月，第2回11月/12月予定）

特徴のある中小・中堅企業や研究機関の見学会，これに合わせて，シニア会員の情報交流会を開催する

５．学生会との交流会

関東学生会会員校会の場を利用して交流会を開催する(6月)

６．シニア会主催の特別講演会（10月）

過去/現在/そして未来の時代を画す技術や話題に関する講演会を開催する

７．シニア会主催のセミナーの開催（新企画　8月）

シニア会メンバーの活動相互紹介に関する交流会を開催する

2020年度事業実施にあたって

新型コロナウルスへの対応

　2020年2月19日付けで、日本機械学会の新型コロナウィルス(COVID-19)拡大防止策が提示され、各種の講演会、講習会、発表会の中止、延期、開催方法の変更などが行われてきました。

7月13日付けで、理事会より「本年(2020年)中は講演会、講習会、懇親会など人が集まる形での行事や会合などの開催を避けること、Webを利用した会合をメインとして、対面でのイベントを企画する場合には、理事会の承認を受けること」との指示があり、シニア会もこの方針に従って、計画・予定していたイベントを延期、中止、実施方法の変更などを検討してきました。

これら状況を踏まえて、6月17日シニア会運営委員会にて下記の決定を行いました。

(1)シニア会ホームページを開設する

(2)シニア交流会をWeb利用で実施する

(3)シニア会主催の特別講演会もWeb利用で実施する

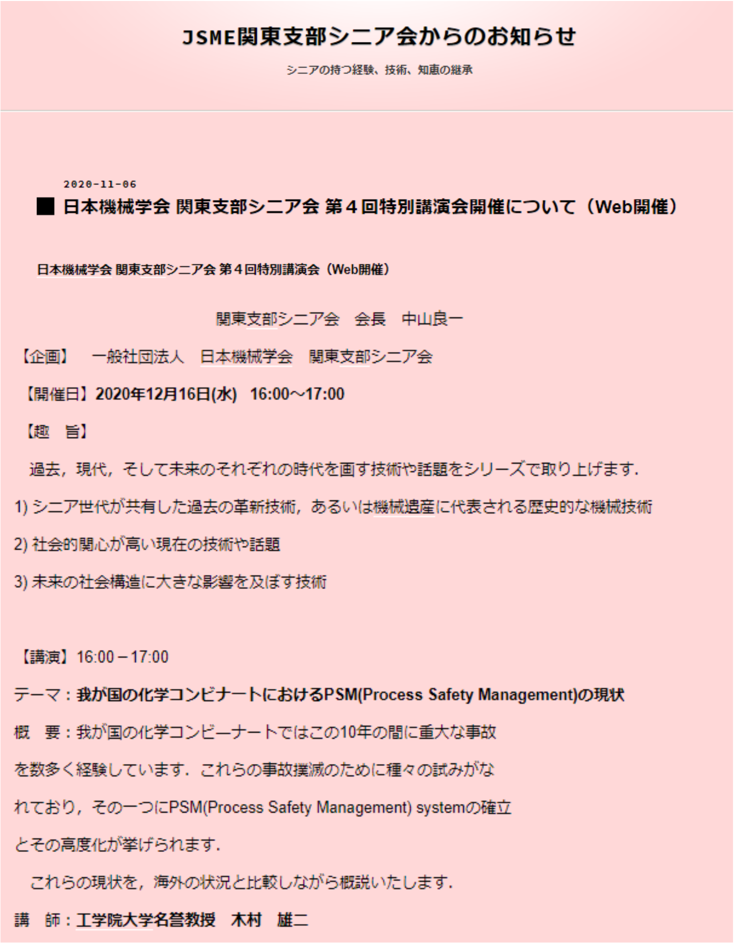
◎その他シニア会イベントは中止、また懇親会も中止とする

P.8/18の当初計画から、この対応策を反映して、イベントの一部中止・延期とした。

2020年度事業報告一覧

3月16日	学生員卒業研究発表講演会は中止(コメンテータを派遣なし)
6月予定	関東学生会会員校会に交流会も中止
6月18日	第一回シニア会運営委員会Web開催 (本年度活動方針，各企画案などを審議⇒見学会は中止・延期)
7月30日	第一回交流会Web開催 シニア会員が保有する技術・体験などの話題を紹介(参加者 ??名)
8月 5日	関東支部シニア会ホームページ開設キックオフ
10月1日	第二回交流会Web開催 シニア会員が保有する技術・体験などの話題を紹介(参加者 ?? 名)
10月30日	第二回シニア会運営委員会(コロナ対応、来年度新企画案などを審議)
11月25日	第二回交流会Web開催 シニア会員が保有する技術・体験などの話題を紹介(参加者 ?? 名)
12月16日	第4回シニア会特別講演会 過去/現在/未来の時代を画す技術や話題に関する講演会を実施(参加者 ??名)
12月28日	第三回シニア会運営委員会(来年度計画案他)
1月15日	関東支部シニア会総会を開催，本阿弥元会長より関東支部シニア会の発足および活動内容を頂く(本日)

シニア会2020年度ホームページ発足



2020年コロナ禍でシニア会員間のコミュニケーションを充実するため,8月より
ホームページ開設の検討を行い、10月より運用を開始しました.

シニア会2020年度第一回交流会

日　時：2020年7月30日（木）　15:40～16:10
講　演:「シニア会会長挨拶と私の体験　～大学、企業、大学～(時々学会)」
講　師:中山良一（ZOOMによる遠隔講演会）参加者数　40名
講演概要:講師が大学学生時代から企業の研究者時代,管理職時代を経て,研修会社の経営を退任した後に,縁があって60歳で工学院大学に着任した.
その大学教員生活を通じて技術者として,「何」を考えて「如何」に行動したかを説明.
技術者の「卵」を育てることに参加することができた。これら種々の役割を一応無事に過ごすことができた背景にある,大学・大学院で指導をうけた教育・指導,企業で受けたOJT指導と後輩を育成した事例を振り返り,最後の教員生活では学生達に「学ぶ」ことを指導できたことを紹介した.
最近の学会に関係した事柄を説明,学会のメリットはネットワークを作る良い機会と捉えている(但し,十分恩返しはできていない).
最後に,「仕事を楽しむ」を実践できたこと,モットーとして「頼まれたことは,やり遂げる」(「誠意と気概」を持って)の一部を自分なりにできたこと,技術者・教育者の仕事を一部自分なりに成し遂げられたことに感謝したいと結んだ.

感想
・遠隔で自宅から講演するのは,はじめての体験で1時間はあっという間であった.
・質問への回答がタイミング等難しかった.

2020年度日本機械学会　シニア交流会　第1回

シニア会会長挨拶と私の体験
～大学、企業、大学～
(時々学会)

1975/4月

2020年7月30日（木）
PM15:00～16:00予定
関東支部　シニア会
中山良一（会長）

2020/6月

6. 企業から大学へ（1/4）

・ 学会への恩返し（東芝時代は一方的にお世話になった）

2005年～現在	関東工学教育協会　理事⇒常務理事
	特別教育士（工学・技術）
	⇒2016年シニア教育士（工学・技術）
2006-7年	日本機械学会　商議委員
2009年	日本機械学会　関東支部　東京ブロック長
2009年～現在	日本機械学会　JABEE委員
	日本工学教育協会　理事（総務・財務，広報委員長）
2009-11年	日本機械学会新現役チャレンジ事業支援委員会　副委員長
2011年	日本機械学会人材活躍・中小企業支援事業委員会　委員
2012-16年	日本機械学会人材活躍・中小企業支援事業委員会　委員長
2013年	日本機械学会 フェロー
2013年	日本機械学会　イノベーションセンター運営委員
2014年～現在	日本機械学会　関東支部シニア会(準備委員、副会長⇒2020年会長)
2016-2018年	日本機械学会　イノベーションセンター長
2019年～現在	日本機械学会　事業アドバイザリー委員会　委員長

⇒ロボット・メカトロニクス部門への恩返しは、できていない(多分最後まで？)

シニア会2020年度第二回交流会

日　時:2020年10月1日（木）15:00〜16：30
講　演:「新人委員長奮戦記」
講　師:中村　城治氏(ZOOMによる遠隔講演会）参加者数　37名
講演概要:建機の研究開発からスタートし，バイオ研究のリーダ，顧客との裁判経験，営業部門のコンプライアンス監査とこれらの体験を踏まえた活動について紹介.
① 民事裁判の被告メーカーの技術者として感じたこと　⇒　裁判は戦争である
②「知財裁判の技術鑑定に関する研究会」での実践的研究
③「交通事故裁判の技術鑑定に関する研究会」での実践的研究
④「業務上過失事件の裁判事例の研究会」での実践的研究

⑤ 2017年３月〜2020年２月　法工学専門会議の運営委員長拝命
*部門長はなぜ一年なの?　　会長以下，[みなさん任期１年]　　理由不明
*委員長」の名刺が欲しい・・前例がない[前例主義]・・委員長の名刺は不要?
*「部門協議会」・・全部門から参加して,延々と資料説明.まるで法事・・無駄だなあ
＊ 会員の減少の真因(=真の原因 QC用語)の解析不足・課題の共有化不足
⑥年次大会で「市民フォーラム模擬裁判」実施(2017年ドローン事故,2018年電動車椅子事故)

感想:アンケートにもありましたが,「日本機械学会」が考える企業会員に対する「顧客満足度」とはなにか？　が一番気になる.これも,「現役を卒業したシニア会員」だから言えること・・・なのかもしれません.逆転の発想で行うと<u>「現役を卒業したシニア会員」だから「言えること」,「出来ること」　を基軸にして,今後の活動テーマを考えたらどうでしょうか？</u>

シニア会2020年度第三回交流会

日　時:2020年11月25日（水） 15:00～16:10
講　演:おもちゃドクタ修行中「おもちゃを治す楽しさ」
講　師:新山　時弘 氏(ZOOMによる遠隔講演会）参加者数　19名

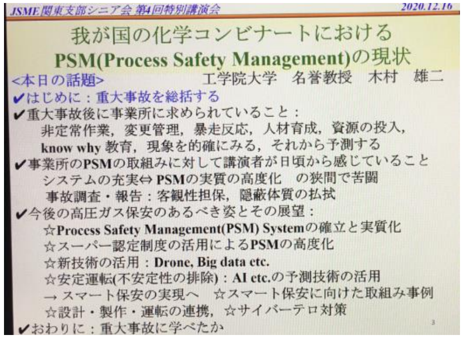
講演概要：長年医療機器の開発・設計に携わり、定年を迎えた技術屋がおもちゃ病院と出会いました。今後、壊れたおもちゃを子供と一緒に治すことで、少しでも動くしくみに興味を持ってもらえたらと思っている。
さらに、子供たちとの交流イベントと手作りおもちゃの紹介をした。
AI，デジタル社会でもアナログ技術は重要。想像力や独自性はこどものころから育む必要があると感じている。周りの大人がものづくりを楽しむことで、子供はものづくりへのあこがれや興味を持つ。大人はそのきっかけ作りをすれば良いのではないかと話題提供した。

講演者感想

- コロナ渦、ZOOM会議の経験はあるが講演は初めてであった。PCのパワーポイントを見ながらの講演は、相手の顔や反応が見えず本当に伝わっているのか不安。
- 分かり易くするため、極力写真や絵を使ったが、もう少し絞った内容のほうが伝わりやすかったように思えた。
- いくつかの質問をいただき、少しは皆さんに興味を持っていただけたと感じた。
- 質問は後日メールでも受付可能となれば、会員相互の交流も生まれるのではないかと思う。

シニア会2020年度特別講演会

日　時:2020年12月16日(水)　16:00～17:00
講　演:「我が国の化学コンビナートにおけるPSM(Process Safety Management)の現状」
講　師:**工学院大学名誉教授　木村　雄二**（ZOOMによる遠隔講演会）
参加者数 40名(対象:関東支部会員)



講演概要：我が国の化学コンビ―ナートではこの10年の間に重大な事故を数多く経験している。これらの事故撲滅のために種々の試みがなされており、その一つにPSM(Process Safety Management) systemの確立とその高度化が挙げらている。これらの現状を，海外の状況と比較しながら概説。

過去国内外で発生した化学コンビナートで発生した重要な事故事例(海外4件，国内4件)の概要的な紹介し、その教訓から規制体制や法的整備が行われ、1)リスクアセスメントの必要性：Risk Base の考え方の徹底、2)教育・技術伝承の再認識：Know how からKnow why 教育への転換、3)反応暴走の理解が必要であることを認識。これら課題から、従来の規制の強化より、自主的保安力の向上が必要、継続的なリスクアセスメントの実行がポイントであると指摘された。これらの対応で、高圧ガス保安協会がH26年にリスクアセスメントガイドラインを策定、事故情報データベースから学ぶ、プロセス改良や設備改良によるリスク低減(運転の安定化・高度化AI、IOTも合わせて)を紹介頂いた。
〇アンケート:大変好評、AIやIOTがプラントに導入され、新しい時代を感じた他

シニア会たよりの開設について(1)

シニア会会員の交流を積極的に進める場として,「シニア会だより」をWebにて配信.
〇会員の相互交流の場として, 会員からのメール投稿を1回/月で掲載(Web)
〇投稿内容はご自身の体験など, おおよそ以下の分類
　・体験　・機械　・技術　・自己啓発　・趣味　・スポーツ
　・芸術　・健康　・その他（重複可）
〇記事は署名記事
〇文字数:500字程度(最大でA4に収まること)
〇図、写真は可(但し、著作権などに注意のこと)

記事のサンプルおよび記事掲載までのルーチン

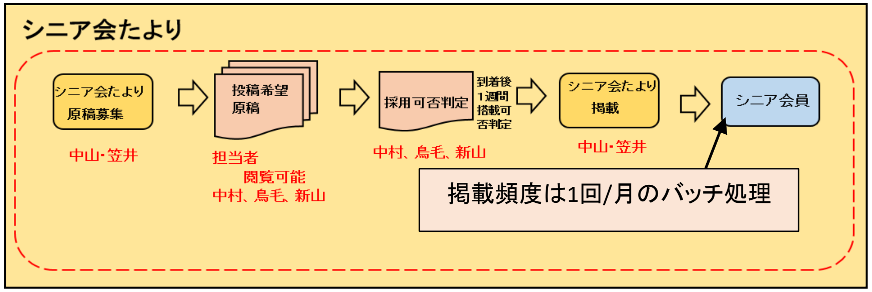
表題：機械遺産を見学して　　**名前**　山田　太郎　投稿日００年00月００日
内容

　０月０日に機械遺産を見学してきました。
　××の機構がとても興味深く、・・・・・
長い時間見入ってしまいました。

　みなさん、お時間のある時に行って見ては
いかがでしょうか。
（**500**字程度）

カテゴリー（強調文字にしてください）
・**体験**・機械・自己啓発・趣味・スポーツ・芸術・その他

送信する



１月より募集予定

シニア会たよりの開設について(2)

「シニア会たより」 投稿規定(案)

1.「シニア会たより」とは

「シニア会たより」は、シニア会会員相互の意見交流、情報交換の場の一つとして2020年度から開始するもので、身近な出来事、機械や技術に関すること、趣味・スポーツなど、日頃会員の皆様が考えておられることを「おたより」と言う形で投稿していただくものです。

投稿いただいた「シニア会たより」は関東支部シニア会のホームページに掲載し、閲覧いただいた会員の方からはホームページに「コメント」としてご意見を書き込んでいただくことで、会員相互の交流が可能なようにしました。

2.投稿の方法

2.1 投稿内容

投稿いただく内容は、整理の都合上、内容は幾つかのカテゴリーに分類しますが、特に制限を設けません。但し、政治や宗教に関わるもの、他人を冒とくするものなど、シニア会活動に不適切なものは掲載できません。

2.2 投稿規定

1)投稿者 :シニア会会員、及びシニア会運営委員会が認めた非会員

2)署名制 :記事は署名記事とする

3)掲載頻度:1回/月程度を目安とする

4)内容分類:記事は以下のようなカテゴリーに分類するが、重複した内容でも可

カテゴリー例:体験談、機械、技術、自己啓発、趣味・スポーツ・芸術、健康、その他

5)文字数 :約500字

6)図・写真:使用可、但し、著作権・映像権などは投稿者の責任で処置しておくこと

2.3 投稿方法

所定の投稿用紙を使用するか、図・写真を添付したテキストファイル、もしくはメールにて作成後、下記宛てに送付して下さい。

送付先:nakary50@g.kogakuin.jp

2.4 審査

お送りいただいた「シニア会たより(案)」は運営委員会「シニア会たより」担当者によって内容の確認を行わせていただきます。場合によっては、一部修正等をお願いする場合がございますので、予めご承知置き下さい。審査は投稿いただいてから一週間ほどで完了の予定です。

2.5 掲載

最終原稿が完成したら、ホームページに掲載します。所定の投稿用紙で作成された場合はそのまま掲載しますが、それ以外の場合のレイアウトはシニア会に一任ください。

2.6 「コメント」のやりとり

掲載された「シニア会たより」に、他の会員の方からコメントが寄せられる場合があります。その際には、適宜回答を頂けると交流の場が広がりますので、よろしくお願いします。

シニア会2020年度決算報告（暫定 ）

収入

費　　目	決算額	
支部からの補助金	300,000	
合計	300,000	

支出

費　　目	決算額	摘　　要
旅費交通費	0	会議、イベントはWeb
総会会場費	0	Web実施
総会懇親会費および参加費	0	懇親会なし
総会講演会費	11,137	講演者シニア会会員
特別講演会費	11,137	講演者シニア会会員
特別講演会懇親会参加費	0	懇親会なし
見学会費	0	全て中止
交流会費	0	3回Web実施
交流会懇親会参加費	0	懇親会なし
雑費	10,000	永年会員案内
予備費	10,000	
合計	42,274	差額25.7万円支部へ

シニア会活動へのご支援･ご協力のお願い

シニア会発足から5年が経過し，昨年度までに各イベントを順調に運営できました，本年度はコロナ禍で対面での会合を開催することができず、大変残念でした．
ホームページの開設，Web講演会も活用できる見込を得られました．

来年度も新しい企画を提供する様に努力致します、また一部の運営委員が交代します（2年2期ルール）．
退任される委員の皆様には，今までのご尽力･ご協力に厚く感謝いたします．

引き続き，皆様方が健康に十分留意された上で，シニア会活動へのご支援･ご協力をよろしくお願いいたします！！